

動物は自分で病気を治しているって知っていますか？

健康に対する食の役割は、わたしたちの生活と深い関わりがあります。とりわけ日本や中国、韓国などでは、食べ物に含まれる物質を「生薬」とよび、むかしから病気の治療や健康維持に用いてきました。このような食べ物と生薬による健康への影響の研究をしています。

① 野生の動物が病気になったらどうする？



② 野生の動物は食べることで病気を自分自身で治しています。



例えば、野生のチンパンジーは、ジャングルに自生する野草をたべて感染症を治しています。



病気の動物に薬効効果が知られているハーブや野草を提示すると、自分の病気の状態にあったものを選びます。

連絡先

後藤 幸織（ごとう ゆきおり）
京都大学霊長類研究所認知学習分野・准教授
メールアドレス: goto.yukiori.5c@kyoto-u.ac.jp
電話: 0568-63-0551



③ このようなテーマの研究を日本と韓国（中国・イギリス）で共同研究を行っています。

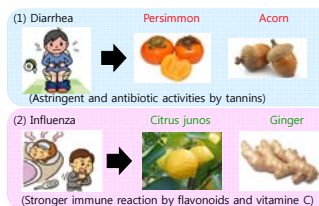


共同研究チームメンバー（韓国・釜山での研究集会にて）

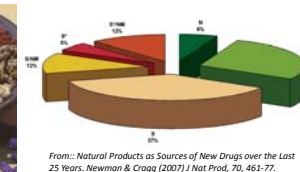


共同研究は京都大学を拠点に日本・韓国の複数の大学で行っています。また、ツムラや丸善製薬といった製薬企業の研究所との連携も行っています。

④ 食べ物と生薬（和漢薬）



Natural Medicine（生薬・和漢薬）



私たちが日常食べているものには病気の治療に効く成分が入っているものが多いです。このような、主に経験によって得てきた知識を元に生薬・和漢薬が発展してきました。しかし、生薬・和漢薬以外の西洋の薬の多くも、実は食物や植物に含まれている天然由来成分を元になっているのです。

⑤ こころ（脳）に作用する野草・生薬

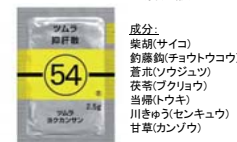


こころ（脳）に作用する野草や生薬は数多くあります。例えば *Tabernanthe iboga* というアフリカに自生する植物は強い幻覚作用を持ち、アフリカ原住民の宗教的儀式に使われてきました。アフリカに生息する様々な動物がこの植物を摂取することが知られていますが、その理由はわかっていません。



セイヨウオドリギソウには抗うつ効果があり、通常の抗うつ薬（SSRIなど）と同程度の効果があることが確認されています。

ヨクカンサン（抑肝散）

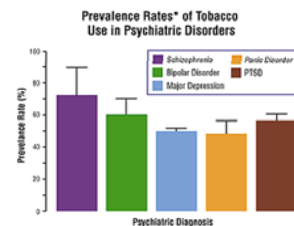


神経の高ぶりを抑え、イライラや不眠に対して古くから使われている赤ちゃんや子供向けの漢方薬ですが、近年の研究では、統合失調症やパーキンソン病といった脳機能に障害のある病気に対して改善効果があることが報告されています。



イチヨウには記憶改善効果があり、アルツハイマー病など認知症に効果があるという研究が多くあります。とりわけ、Egb (Extractum Ginkgo bilobae) 761という成分に効果があるようです。

⑥ こころの病をもつ患者さんは無意識に自分で治療している（かもしれない）。



こころの病をもっている患者さんは、そうでない人とくらべて依存性薬物（タバコなどを含む）を多用することが知られています。このような依存性薬物使用によって、患者さんは無意識のうちにじぶんでこころの病の症状を治そうとしているという仮説があります。